

重点目標一覧表

担当部局名

真田地域自治センター

【令和元年度重点目標】

【令和2年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
重点目標	ラグビーワールドカップ2019を契機とした「ラグビー合宿の聖地 菅平高原」の魅力の発信		重点目標	東日本台風被災箇所復旧の推進	
1	<p>① イタリア代表チームのトレーニングキャンプを歓迎する意識の醸成</p> <p>(1) 真田町商工会などが行う歓迎事業への支援</p> <p>(2) ラグビーワールドカップ日本大会の応援情報の発信</p> <p>(3) 菅平線のバスを利用したラグビーワールドカップ日本大会等のPR</p> <p>(4) 真田図書館にラグビーワールドカップ日本大会等の特設コーナーの設置</p> <p>(5) タグラグビー・タッチラグビー講習会の開催</p> <p>② ラグビーイタリア代表チームを迎えるための練習環境の整備</p> <p>(1) 主会場となるサニアパーク菅平のフィールドコンディションの向上</p> <p>(2) 菅平高原アリーナでの受入体制の充実</p>	<p>①</p> <p>(1) 歓迎事業を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会が行った「そばパスタ」の提供(菅平7店舗)を支援 ・イタリア代表歓迎のぼり旗設置(国道144号線沿ほか)を支援 <p>(2) 応援情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特設ブースの設置(自治センター、ゆきむら夢工房、サニアパーク菅平、菅平高原アリーナ) ・HPやTV報道等による情報発信(7月～11月) <p>(3) バスを利用したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅平線のバス車内にPRポスターを掲出 ・利用者に乗車記念シール500枚を配布(5月中旬から10月末) <p>(4) 図書特設コーナーを設置(7月～11月)</p> <p>(5) タッチラグビー教室を開催(6月30日開催60人参加)、真田まつりタッチラグビー体験教室を開催(8月3日開催30人参加)</p> <p>②</p> <p>(1) 5月初旬にメイン及びDグラウンドに芝種を播種し、環境整備を実施(9月11日公開練習、9月13日非公開練習)</p> <p>(2) 代表チームに良好な合宿環境を提供するため、施設の利用日程を調整(9月9日)</p>	<p>① 公共土木施設災害復旧事業の推進</p> <p>(1) 公共土木施設災害復旧工事の早期発注</p> <p>(2) 公共土木施設災害復旧工事の早期完成</p> <p>② 農地農業用施設災害復旧事業の推進</p> <p>(1) 農地農業用施設災害復旧工事の早期発注</p> <p>(2) 農地農業用施設災害復旧工事の早期完成</p> <p>③ 被災箇所復旧状況の周知</p> <p>(1) 復旧工事進捗情報の住民への提供</p>	<p>①</p> <p>(1) 補助2件、単独4件の発注(8月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助(加賀森つばくろ線、菅の沢線) ・単独(大日向中央線 他4件) <p>(2) 補助2件(全体5件)、単独14件の完成(3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助(役場南線、大畑横沢線) ・単独(鳴尾沢 他14件) <p>②</p> <p>(1) 補助12件の発注(12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭首工(角間地区 他6件) ・用水路(戸沢地区 他2件) ・農道(渋沢地区 他4件) <p>(2) 補助7件の完成(3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭首工(角間地区 他3件) ・用水路(戸沢地区 他2件) ・農道(角間地区 他2件) <p>③</p> <p>(1) 自治センターだよりによる広報(6回)</p>	
重点目標	市民と行政が共に進める「参加と協働のまちづくり」		重点目標	市民と行政が共にすすめる「参加と協働のまちづくり」	
2	<p>① 住民自治組織の運営基盤づくりへの支援</p> <p>(1) 関係部局との調整等、「まちづくり計画」策定への支援</p> <p>(2) 住民自治組織が取組む独自事業への支援</p> <p>② 「地域づくり委員会」との協働による安全・快適なまちづくりの推進</p> <p>(1) まちづくりに活用できる情報の提供</p> <p>(2) 地域課題の共有</p> <p>(3) 協働による地域課題の解決に向けた取組</p> <p>③ 「協働のまちづくり」の気運醸成に向けた取組</p> <p>(1) 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携</p> <p>(2) 地域づくり活動の積極的な周知</p>	<p>①</p> <p>(1) 「真田の郷まちづくり計画」策定完了(2月)</p> <p>(2) 独自事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治センターだより(7月号)及び有線放送による周知 ・地域協議会から住民自治組織へ取組を提案 <p>②</p> <p>(1) 地域づくり委員会(7月)、真田地域自治会連絡会議(1月)</p> <p>(2) 地域づくり委員会を開催して取りまとめた地域の課題を情報共有(11月)</p> <p>(3) 活動事例の紹介や支援策を情報提供(7月、1月)</p> <p>③</p> <p>(1) 「地域づくり委員会地域担当者打合せ会議」を開催(1回)、地域要望に係る事業実施や予算編成を実施</p> <p>(2) 地域づくり活動をセンターだよりに掲載(5回)</p>	<p>① 地域づくり委員会との協働による「安心・安全なまちづくり」の推進</p> <p>(1) まちづくりに活用できる情報の提供</p> <p>(2) 地域課題の掘り起しと関係機関との情報共有</p> <p>(3) 協働推進員及び地域づくり委員会地域担当職員との情報共有と連携</p> <p>② 「協働のまちづくり」の気運醸成に向けた取組</p> <p>(1) 地域づくり活動の積極的な周知</p> <p>③ 住民自治組織の「地域まちづくり計画」推進への支援</p> <p>(1) 関係部局との連携による支援</p> <p>(2) 住民自治組織が取組む各種事業への支援</p>	<p>①</p> <p>(1) 委員会等を活用した情報提供(8月末)</p> <p>(2) 委員会、住民自治組織等への課題の情報提供(1月末)</p> <p>(3) 6月開催予定の打合せ会議での情報共有(6月末)</p> <p>②</p> <p>(1) 自治センターだよりによる広報(5回)や36自治会への情報提供(2回)</p> <p>③</p> <p>(1) 円滑な活動実施に向けた情報共有と連携(3月末)</p> <p>(2) 自治センターだよりによる、住民への活動状況等の周知(2回)</p>	
重点目標	「菅平高原」ブランドを活かした更なる誘客の促進		重点目標	「菅平高原」ブランドを活かした更なる魅力の発信	
3	<p>① サニアパーク菅平のオープン20周年記念事業の開催</p> <p>(1) 実行委員会を組織し各種記念大会を開催</p> <p>(2) 恵まれた練習環境を積極的に情報発信</p> <p>② 菅平高原アリーナの利用促進</p> <p>(1) 繁忙期(7月～8月)の利活用と年間を通じた利用促進を図るため、「管理運営関係者会議」を設置</p> <p>(2) 利用者の安全性向上を図る施設整備</p> <p>③ 年間を通じた誘客を目指した活動への支援</p> <p>(1) 健康増進プログラムの提供を通じた誘客に取組む「菅平スポーツ・交流協議会」への支援</p>	<p>①</p> <p>(1) サニアパーク菅平20周年記念イベント実行委員会を組織し、記念大会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカークリニック(6月16日:207人参加) ・関東大学ラグビー菅平開幕戦(8月31日～9月1日:観客数約5,800人) ・上田陸上カーニバル(9月23日:540人参加) <p>(2) HPやSNSにより、ラグビーイタリア代表チームの公開練習や関東大学ラグビー菅平開幕戦を通じた情報発信による、サニアパーク菅平のPR</p> <p>②</p> <p>(1) 運営委員会を設置及び会議を開催(5月15日、12月16日)</p> <p>(2) ラバーマットを設置(6月28日)</p> <p>③</p> <p>(1) 協議会が行った事業に対し、財政支援及び自立に向けた今後の展望、活動について情報共有と集客指導</p>	<p>① 2027年国民体育大会開催に向けたサニアパーク菅平の施設整備と情報発信</p> <p>(1) 老朽化した防球ネット改修工事</p> <p>(2) ラグビーワールドカップ2019日本大会を契機とした更なる「ラグビー合宿の聖地 菅平高原」の魅力発信</p> <p>② 菅平高原アリーナの利用促進</p> <p>(1) 「菅平高原スポーツランド及び菅平高原アリーナ運営委員会」による利用促進の研究</p> <p>(2) 観光協会、旅館組合等と連携した誘客活動</p> <p>(3) ホームページ等を活用したPR</p> <p>③ 菅平湿原の施設整備</p> <p>(1) 老朽化した木橋の改修工事</p> <p>④ 根子岳ササ刈りイベントの開催</p> <p>(1) 有識者監修による植生回復のためのササ刈りイベントの実施</p> <p>⑤ 菅平高原自然館のあり方の検討</p> <p>(1) 地元菅平高原関係団体との協議</p>	<p>①</p> <p>(1) Cグラウンドの防球ネット張替え(12月末)</p> <p>(2) ホームページやFacebookを活用した情報発信(通年)</p> <p>②</p> <p>(1) 委員会による利用促進手法の研究(会議の開催:随時)</p> <p>(2) 目標利用合宿チーム数:10チーム、目標利用者数:19,000人(R1実績:17,000人)(3月末)</p> <p>(3) 利用促進のための情報発信(通年)</p> <p>③</p> <p>(1) 木橋の改修工事(L=9m、W=2m)(12月末)</p> <p>④</p> <p>(1) 参加者:30人(11月)</p> <p>⑤</p> <p>(1) 方向性の決定(3月末)</p>	

重点目標一覧表

担当部局名

真田地域自治センター

【令和元年度重点目標】

【令和2年度重点目標】

重点目標	地域を守る自主防災活動の推進		重点目標	真田地域福祉関係施設における今後のあり方検討	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
4	① 自主防災組織の育成 (1) 自主防災組織のリーダーの役割及び避難勧告等発令時の対応等についての研修会開催 ② 防災訓練の実施 (1) 危機管理防災課と連携し、上田市防災訓練(主会場)の実施 (2) 自治会単位での防災訓練の実施を推進 ③ 災害時要援護者登録制度の充実 (1) 自治会の防災訓練等に併せ、制度を活用した見廻り訓練等の推進 (2) 住民支え合いマップの有効活用の検討 (3) 更新作業の実施	① (1) 自主防災組織リーダー研修会に32組織が参加(5/20) ② (1) 真田運動公園を主会場として上田市防災訓練を実施 参加者706名(8/31) (2) 自治会単位の防災訓練を実施(35自治会) ③ (1) 制度を活用した訓練実施を働きかけ 【自主防災リーダー研修(5月)、自治会連絡協議会(12月・1月)、地区社会福祉協議会(10月)、地域づくり委員会(7月)】 (2) 民生児童委員協議会(真田地区)により検討され方針が決定 (8月・9月・10月・11月) (3) 全自治会で更新作業を実施(8月～1月) 登録リスト(台帳)及びマップ等を更新(25自治会)	① 上田市真田総合福祉センターのあり方検討 (1) 現状把握実施後に庁内関係課と内部協議を実施 (2) あり方検討会を組織し、外部からの意見聴取を実施 ② 上田市真田地域活動支援センターの施設形態の移行 (1) 障がい者施設から福祉施設とする手続きの実施 (2) センターの利用方法、運営体制等の協議	① (1) 現状課題等の関係課協議(2回:3月末) (2) あり方検討会(3回:3月末) ② (1) 条例改廃の提案(6月末) (2) 利用方法、管理方法等の利用者や関係団体との協議(3回:3月末)	
	重点目標	地域公共交通の存続に向けた利用の促進	重点目標		
5	① 公共交通の利用促進に向けた広報活動 (1) 地域住民へのPR活動 (2) 学生等への利用促進の啓発 ② バス利用促進のための各種イベントの開催 (1) セタバス、真田まつりでのバス乗車体験、定期券・回数券特別斡旋企画・クリスマスイベント、ギャラリーバス(絵画・写真等の車内展示)等 ③ 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 (1) 役員会及び総会の開催 (2) 利用促進に向けた調査、研究	① (1) 「自治センターだより」にバス利用促進の呼びかけの記事を掲載(年間5回) (2) 高校生向けPR(3回) 首都圏学生向けPR(2回) 実施 ② (1) 各種イベントを開催 ・園児の描いた絵画73点を展示したセタバスを運行(7/7～8/7) ・真田まつりでバス乗車体験を実施(8/3:参加者330人余) ・定期券・回数券の特別販売企画実施(4/15～5/14、9/15～10/14) ・イルミネーションバスの運行に際し、乗客600人に乗車記念品配布(12/15～12/25) ・ギャラリーバス3台に6団体88作品を展示し運行(2/1～29) 夏休みキッズバスに併せ真田地域独自のスタンプラリーを実施 ③ (1) 関係52団体が参加し総会開催(6/26)、利用促進に向け役員会を開催(5月・2月) (2) 新たな利用促進策として、菅平線の輸送人員増を図るため、都内の各大学等36箇所を訪問しPRを実施(7月・11月)	具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等
	重点目標	真田地域福祉関係施設における今後のあり方の検討	重点目標		
6	① 上田市真田地域活動支援センターの利用方法や運営体制の検討 (1) 利用方法や運営体制の検討 (2) 移行等の手続き調整 ② 上田市真田総合福祉センター等のあり方検討 (1) 内部協議の実施 (2) あり方検討会の組織化に向けた準備	① (1) 上田市真田地域活動支援センターの運営方針を決定 ・同施設あり方検討会(5月29日:福祉関係団体代表者等10名) ・現利用者からの意見聴取(4月、1月、3月) ・関係部所との協議(3回) (2) 関係条例改正に向けた準備 ② (1) 施設の老朽化、耐震性、周辺公共施設を含めた共用化について内部協議を実施 (2) 真田総合福祉センターあり方検討会のメンバー構成を検討	具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等
	重点目標				